令和　８年（ケ）第　　２３号

期　間　入　札　の　公　告

令和　８年１１月１８日
甲府地方裁判所民事部執行係
裁判所書記官　竹　内　大　輔

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和　８年１２月　３日　午前　８時３０分から 令和　８年１２月１０日　午後　５時００分まで	
開札期日	日　時 場　所	令和　８年１２月１７日　午前１０時００分 甲府地方裁判所売却場
売却決定期日	日　時 場　所	令和　９年　１月１４日　午前１０時００分 甲府地方裁判所民事部執行係
特別売却実施期間	令和　８年１２月１８日　午前　９時３０分から 令和　８年１２月２２日　午後　４時３０分まで	
買受申出の保証の提供方法	下記のいずれかによる。 （１）当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 （２）銀行，損害保険会社，農林中央金庫，株式会社商工組合中央金庫，全国を地区とする信用金庫連合会，信用金庫又は労働金庫の支払保証委託締結証明書	
買受申出の資格の制限（民事執行規則３３条）	☆印を付した物件は農地であるので，権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り，買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため，物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和　８年１１月１８日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和７年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	4,940,000 3,952,000	一括	988,000	23,293	4,773
1	1,210,000				
2	940,000				
3	2,790,000				
備考					

令和　８年（ケ）第　　２３号

物　件　目　録

１　所　　在　　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪

　　地　　番　　３７４番１

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２３３．６７平方メートル

２　所　　在　　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪

　　地　　番　　３７８番２

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１８１．０４平方メートル

３　所　　在　　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪　３７４番地１、３７４番地１先

　　家屋　番号　　３７４番１

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　木造亜鉛メッキ鋼板葺２階建

　　床　面　積　　１階　１４２．５６平方メートル
　　２階　　６３．４２平方メートル

（現況）

　　床　面　積　　１階　１４２．５６平方メートル
　　２階　約４０平方メートル

令和　８年（ケ）第　　２３号

物　件　明　細　書

令和　８年　９月　２日
甲府地方裁判所民事部執行係
裁判所書記官　竹　内　大　輔

1　不動産の表示
【物件番号１～３】
別紙物件目録記載のとおり

2　売却により成立する法定地上権の概要
なし

3　買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号１～３】
なし

4　物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号２，３】
本件所有者が占有している。

5　その他買受けの参考となる事項
【物件番号１，２】
隣地（本件各土地の北側に位置する公図上の「道」及び本件各土地に介在する「水」並びに地番３７４番２）との境界が不明確である。

《注　　意　　書》
1　本書面は，現況調査報告書，評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり，関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
2　記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし，記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので，必ず，現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
3　買受人が，占有者から不動産の引渡しを受ける方法として，引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は，「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
4　対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。

5　各種「詳細説明」は，閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

令和　8年（ケ）第　　２３号

物　件　目　録

１　所　　在　　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪

　　地　　番　　３７４番１

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２３３．６７平方メートル

２　所　　在　　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪

　　地　　番　　３７８番２

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１８１．０４平方メートル

３　所　　在　　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪　３７４番地１、３７４番地１先

　　家屋　番号　　３７４番１

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　木造亜鉛メッキ鋼板葺２階建

　　床　面　積　　１階　１４２．５６平方メートル
　　２階　　６３．４２平方メートル

（現況）

　　床　面　積　　１階　１４２．５６平方メートル
　　２階　約４０平方メートル

令和８年（ケ）第２３号

令和　８年　５月１３日受理
令和　８年　６月２５日提出

現況調査報告書

甲府地方裁判所
執行官　長谷川　毅　印

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

総丁数 28枚

令和　8年（ケ）第　　23号

物　件　目　録

1　所　　在　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪

　　地　　番　３７４番１

　　地　　目　宅地

　　地　　積　２３３．６７平方メートル

2　所　　在　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪

　　地　　番　３７８番２

　　地　　目　宅地

　　地　　積　１８１．０４平方メートル

3　所　　在　甲州市塩山上於曽字宮ノ窪　３７４番地１、３７４番地１先

　　家屋　番号　３７４番１

　　種　　類　居宅

　　構　　造　木造亜鉛メッキ鋼板葺２階建

　　床　面　積　１階　１４２．５６平方メートル
　　２階　　６３．４２平方メートル

（土地・建物用）

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	山梨県甲州市塩山上於曽３７４番地
土地	物件　１，２
現況地目	■宅地（物件　１，２）　□公衆用道路（物件　　）　□雑種地（物件　　）
形状	□建物図面（各階平面図）のとおり　■（概ね）土地建物位置概略図のとおり
占有者及び占有状況	■土地所有者　□その他の者 上記の者が物件１の土地上に，主に下記建物を所有し，占有している 上記の者が物件２の土地を，更地の状態で所有し，占有している □「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物（目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
その他の事項	
建物	物件　３
種類，構造及び床面積の概略	□公簿上の記載と概ね同一である ■公簿上の記載と次の点が異なる（■主である建物　□附属建物） □種　類： □構　造： ■床面積：１階　１４２．５６平方メートル ２階　約４０平方メートル
物件目録にない附属建物	■ない □ある　種　類：／構　造：／床面積：
占有者及び占有状況	■建物所有者（●A●●●）　□その他の者 上記の者が本建物を　居宅　として使用し，占有している □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地（目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
その他の事項	１　昭和三十三，四年頃建築（関係人の陳述による。） ２　昭和４７年　４月増築（登記記録上）
執行官保管の仮処分	■ない □ある　地方裁判所　支部　平成　年（　）第　号／保管開始日　平成　年　月　日
土地建物の位置関係	□建物図面（各階平面図）のとおり　■（概ね）土地建物位置概略図のとおり

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

1　接道関係は，写真４ないし６のとおり。本件各土地は，両土地に介在する公図上の「水」と一団となり，北側道路よりも一段低い位置に存在する。公図に基づく簡易計測の結果等によると，物件１，２の各土地北側部分は，「道」とともに道路として一体利用されている可能性がある。当該北側道路は，概ね，東側から西側にかけて若干高くなる緩傾斜地を形成している。

2　一団形成している上記物件１，２の各土地及び「水」は，フェンスや擁壁などで区画され，東側に河川（塩川）が存在する（写真７，８，１２参照）。なお，物件１の土地とその南側隣地（地番３７４番２）との境界付近に境界標（写真９参照）が設置されているが，境界付近は砂利敷きの一面地を形成していることなどから，当該両土地の境界が，外観上，判然としない（写真１０，１１参照）。

3　公図上，物件１，２の各土地間に「水」が記載されているが，現地の形状・位置関係及び簡易計測の結果等によると，当該「水」は認められないものと観察した。なお，当該「水」付近と思われる箇所に排水溝が存在する（写真１３参照）が，境界標の設置位置（写真９，１４参照）を基に簡易計測した結果等によると，当該排水溝の位置は，公図上の「水」の位置とは必ずしも一致しないものと観察した。

4　物件２の土地は，北側部分（低）と南側部分（高）とで若干高低差があり，概ね擁壁で区画されている。当該北側部分は駐車スペース等として利用されており，南側部分は，以前，家庭菜園として利用されていたようであるが，現状，雑草木の生い茂った更地を形成している（写真１５，１６参照）。

5　物件２の土地北側部分に，以前，洗浄場として利用されていた鉄骨造の構築物（ただし，屋根は撤去した旨の関係人の陳述がある。）が存在する（附属構築物。写真１５等参照）。

6　本件建物の，２階屋根に歪んでいる箇所（写真１７参照）が，１階北側部分の屋根や壁等（１階間取図中の「物置１」，「物置３」の屋根や壁装材・天井材）に剥離や損傷が認められる（写真１８，２６，２７参照）。

7　本件建物の２階居室（間取図中の「和室３」）の天井に雨漏り跡が認められる（写真３０参照）ほか，２階階段付近の壁装材に剥離が認められる（写真３２参照）。なお，関係人の陳述によると，屋根を修繕したため，現在雨漏りしないとのことである。

8　本件建物につき，経年劣化により，上記以外にも，不具合箇所の存在する可能性がある。

9　本件各土地の北側に位置する公図上の「道」及び本件各土地に介在する「水」並びに下記隣地（登記記録上の記載は下記のとおり）との境界が，外観上，判然としない。

地番	地目	地積	所有者
３７４番２	宅地	１６９．５３㎡	●B●●

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等

陳述者 （当事者等との関係）	陳述内容等
●A●●● （所有者）	1　私は，本件土地建物の所有者です。平成６年３月１６日に，本件土地建物を単独相続しました。 2　本件建物は，私が５歳頃の，昭和三十三，四年頃に建てられた建物です。 3　本件建物１階北側部分は，以前，ブドウを搾り，絞り液を瓶詰めする工場として使用されていました。当該工場が稼働していた当時，物件２の土地の北西側部分に屋根付きの洗浄場が，本件建物の２階北西側部分に事務所がありました。当該工場は，昭和４５年頃廃業となりました。 4　令和６年５月頃，洗浄場の屋根及び上記事務所部分を解体・撤去しました。洗浄場は，現在，柱と壁が残ったままとなっています。当該洗浄場を，本物件の附属構築物として処理して構いません。 5　上記工場が稼働していた当時，本物件内で，土壌汚染に繋がるような薬品が使用されていたことはありません。 6　本件建物で，現在，私が１人で暮らしています。本物件内で，第三者が使用・占有している箇所はありません。 7　物件２の土地の，北側部分は，現在駐車スペース等として使用しています。南側部分は，以前，義母が家庭菜園として使用していましたが，今は誰も耕作しておらず荒れ地となっています。 8　以前，本件建物の居室部分に，雨漏りする箇所がありましたが，当該部分の屋根を修繕したので，今は雨漏りしません。 9　以前工場として使用されていた箇所は，現在物置として利用していますが，屋根や壁などが壊れても修復せず放置しています。 10　浴室の煙突付近に隙間があり，雨が降るとそこから雨が入ってくることがあります。

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

（調査経過用）

調 査 の 経 過

調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8年　5月18日(月) 13：00－14：00	物件所在地 （1回目）	現況調査，外観写真撮影 所有者と面談
8年　5月19日(火) 9：00－ 9：20	甲府地方法務局	登記事項証明書交付請求（窓口）
8年　5月22日(金) 9：30－10：30	物件所在地 （2回目）	現況調査（全戸不在），写真撮影
8年　6月19日(金) 9：40－11：00	物件所在地 （3回目）	現況調査，写真撮影 所有者と面談 ＜評価人同行＞

（特記事項）

□　令和　　年　　月　　日
　目的物件は不在で施錠されていると予想されたので，立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

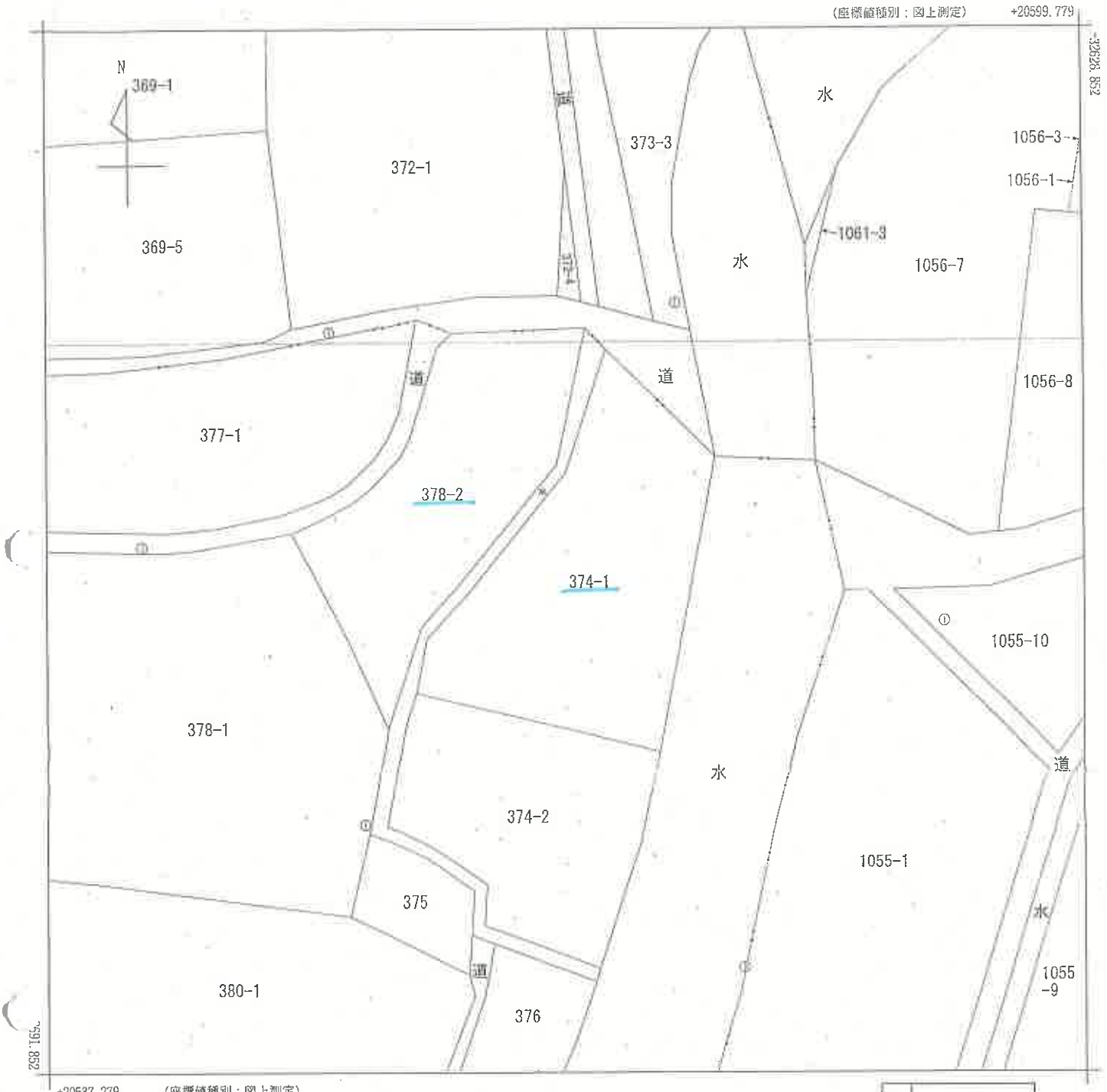
□　令和　　年　　月　　日
　目的物件は不在で施錠されていたので，立会人　　を立ち会わせ，技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

□　令和　　年　　月　　日
　休日・夜間執行許可の提示をした。

□

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

A４判に縮小



(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouoki2011.par)による修正がされています。

地番区域見出	塩山上於曽

請求部分	所在	甲州市塩山上於曽字宮ノ窪			地番	374番1		
出力縮尺	1/250	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	Ⅷ	分類	地図(法第１４条第１項)	種類	地籍図
作成年月日	昭和62年12月			備付年月日(原図)	平成1年5月1日	補記事項			

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年3月31日
甲府地方法務局
地図整理番号：M27314　　登記官

(1/1)

(6 枚目)

登記年月日：平成14年10月25日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年3月31日　甲府地方法務局　登記官

（　2　枚目）

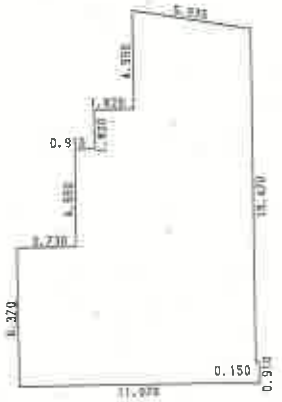
各階平面図　0228097

建物図面
~~各階平面図~~

家屋番号	374番1
建物の所在	~~塩山市~~上於曽字宮ノ窪374番地1・374番地1先

平成壱四年 ㋂月 弐五日 登記

1階



求積表

5.460 X	3.640 =	19.874400
7.280 X	1.820 =	13.249600
8.190 X	4.550 =	37.264500
10.920 X	5.460 =	59.623200
11.070 X	0.910 =	10.073700
0.910 X	5.460/2=	2.484300
合	計	142.569700

床面積　142.56㎡

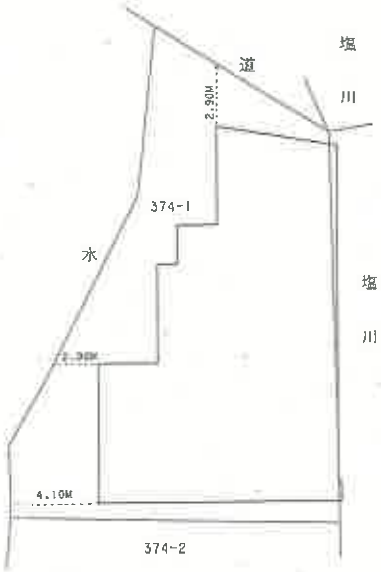
2階



求積表

3.640 X	10.920 =	39.748800
2.430 X	6.370 =	15.479100
2.575 X	6.370/2=	8.201375
合	計	63.429275

床面積　63.42㎡





（日調連12）

作製者		9日作製）	縮尺	1/250

申請人		縮尺	1/250

（長源紙）

（山梨県土地家屋調査士会統一用紙）

A4判に縮小

地図整理番号：M27316

土地建物位置概略図



鉄骨造の附属構築物

物件2の土地内にある擁壁
(大凡の位置・範囲)

境界標

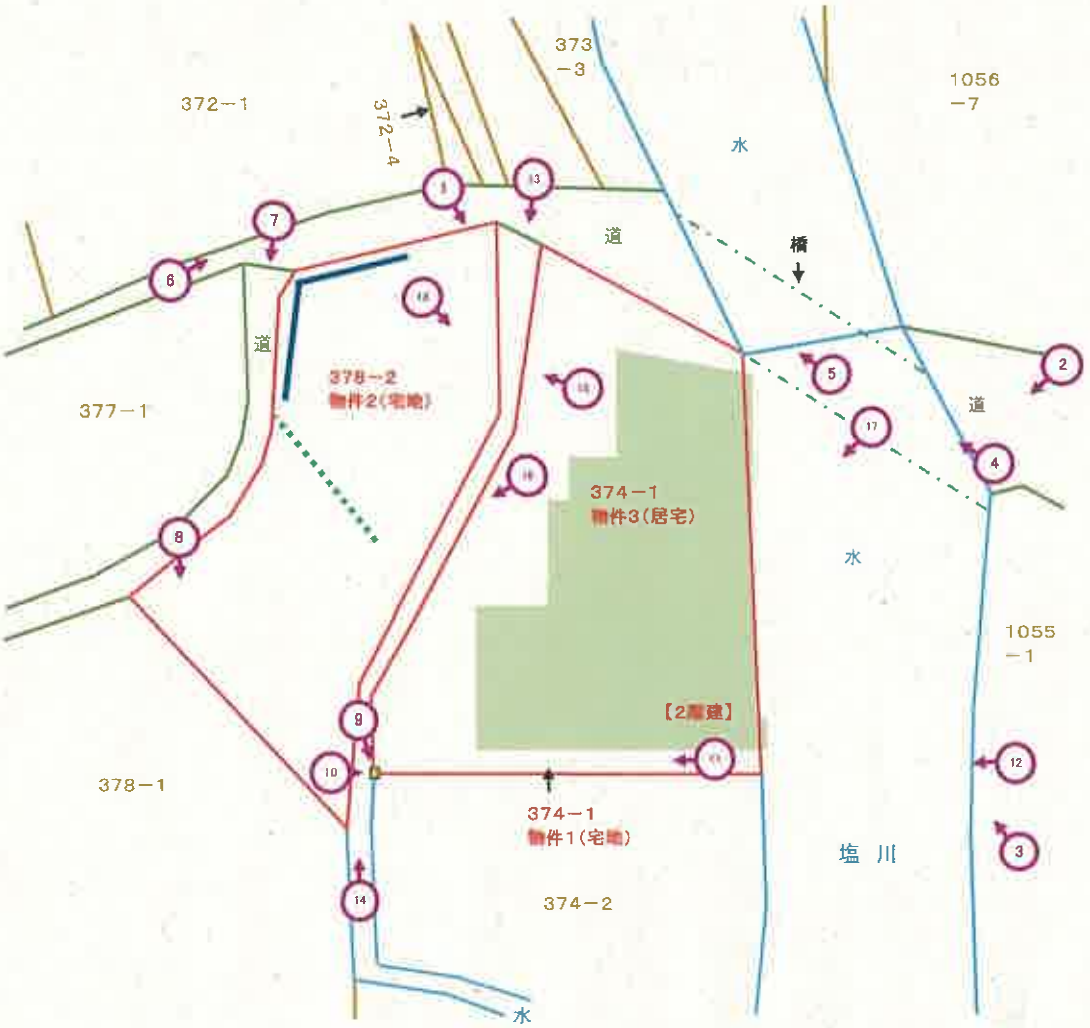


【 申立外の近隣地（８筆）を表示 】

（ ８ 枚目 ）

土地建物位置概略図

写真撮影
位置・方向



鉄骨造の附属構築物

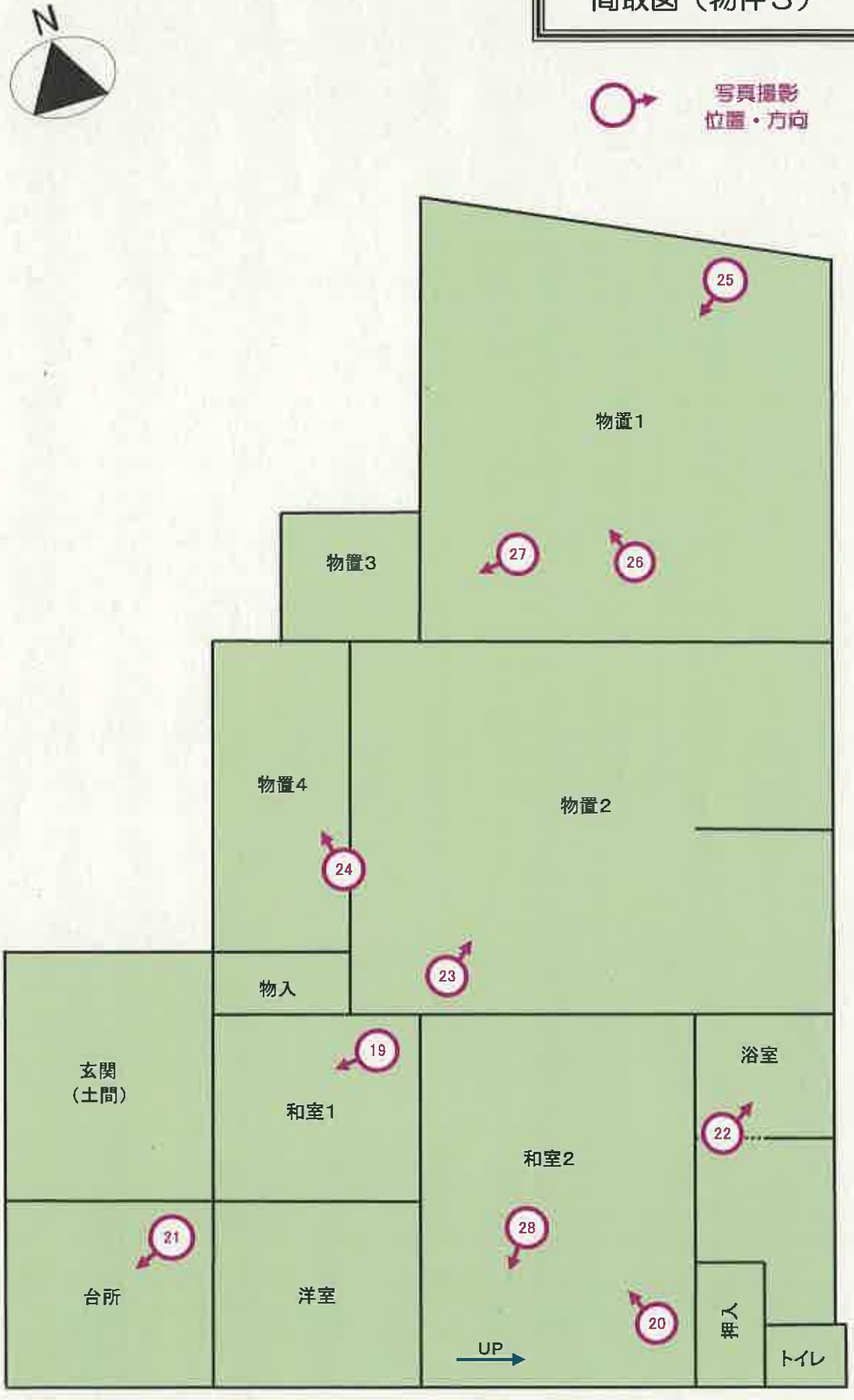
物件2の土地内にある擁壁
(大凡の位置・範囲)

境界標

N

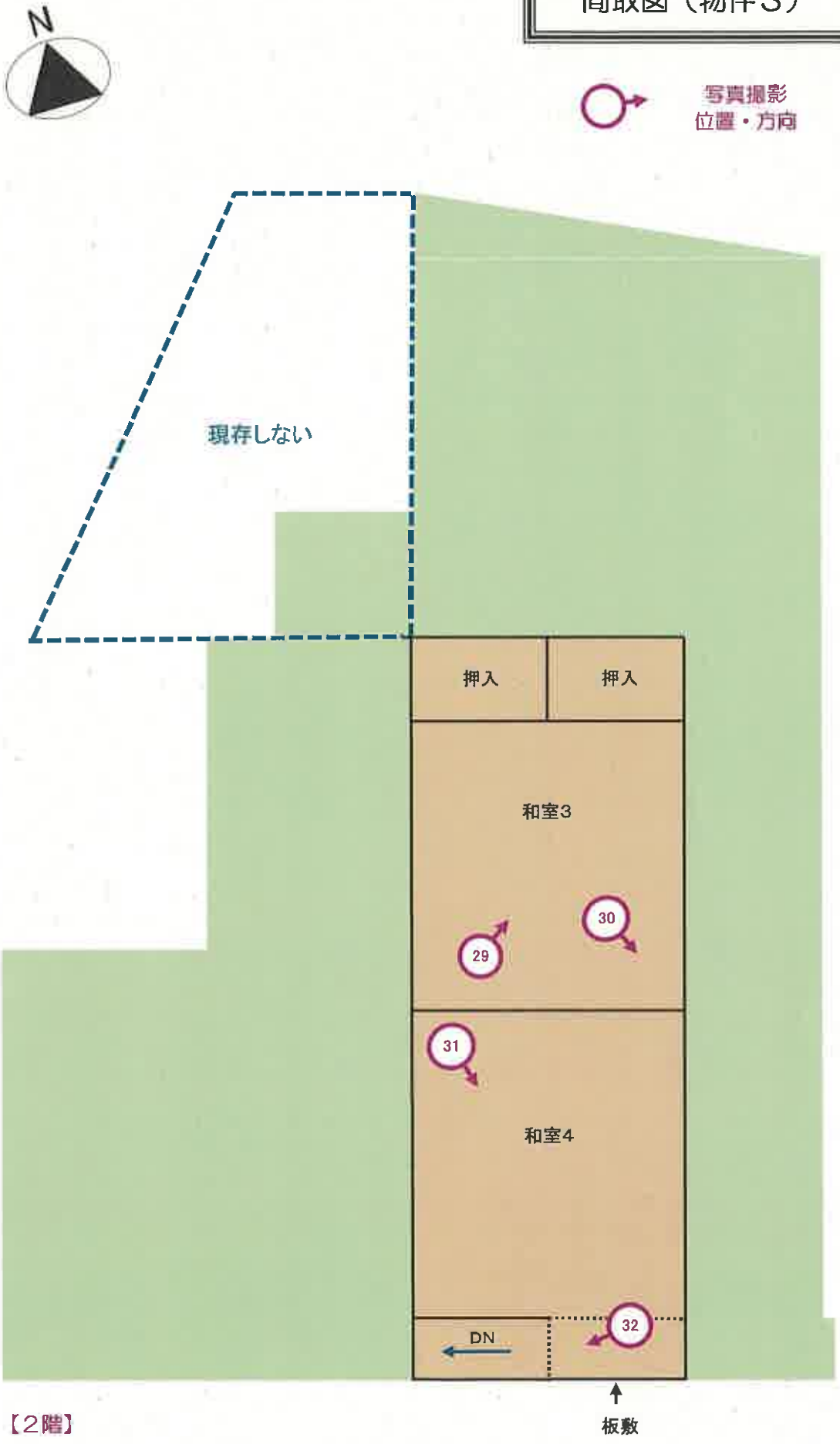
【 申立外の近隣地（８筆）を表示 】

間取図（物件３）


N
写真撮影
位置・方向
物置1
物置3
物置4
物置2
物入
玄関
（土間）
和室1
和室2
浴室
台所
洋室
押入
トイレ
UP
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28

【１階】

間取図（物件３）



写真

1

物件3(居宅)



2

物件3(居宅)



写真

3

物件3(居宅)



4

物件3(居宅)



接道関係

写真

5



接道関係

6



接道関係

写真

7



8



写真

9



10



写真

11



12



写真

13



14



境界標の設置位置からすると，公図上の「水」付近と
推察される箇所

写真

15



物件2（宅地）の北側部分を撮影したもの

16



物件2（宅地）の南側部分を撮影したもの

写真

17



本件建物の屋根に歪みが認められる状況を撮影したもの（拡大写真）

18



本件建物の屋根や壁等に損傷が認められる状況を撮影したもの

写真

19



和室1

20



和室2

写真

21



台所

22



浴室

写真

23

物置1



物置2

24



物置4

写真

25



物置1

26



屋根の損傷が認められる状況を撮影したもの（物置1）

写真

27



天井・壁装材の剥離や損傷が認められる状況を撮影したもの（物置3）

28



階段方向を撮影したもの

写真

29



和室3

30



雨漏り跡を撮影したもの（和室3）

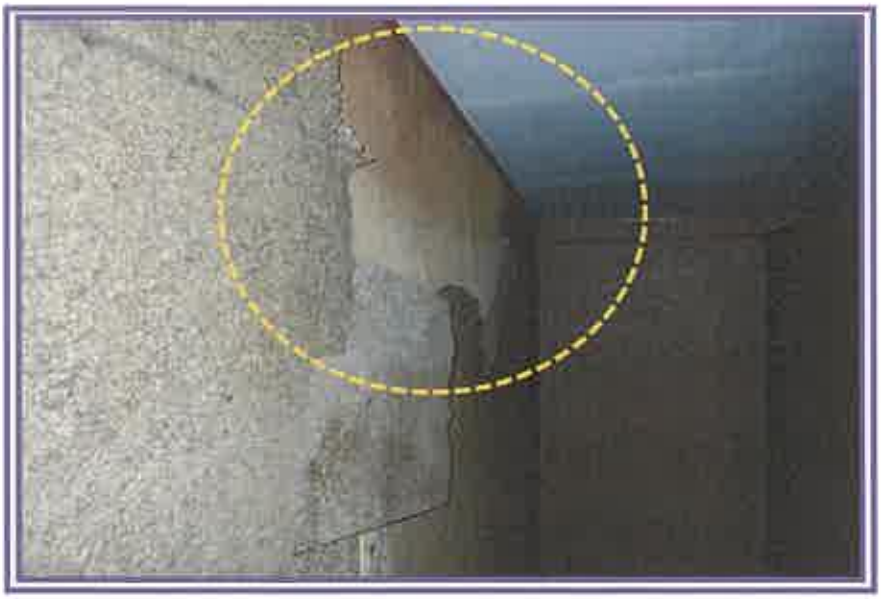
写真

31



和室4

32



壁装材の剥離が認められる状況を撮影したもの（2階階段付近）

令和 8年（ケ）第　　23号
令和 8年 6月19日　現地調査
令和 8年 7月13日　評　　価

甲府地方裁判所　民事部　御中

評　　価　　書

（物件1～3）

評価人
小川和彦

第１　評価額

一　括　価　格	
金 ４，９４０，０００円	
内　訳　価　格	
物件１（土地）	金　１，２１０，０００円
物件２（土地）	金　９４０，０００円
物件３（建物）	金　２，７９０，０００円

①　一括価格は、物件1～3の各不動産について一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。

②　内訳価格は、配当の割付と超過売却(民事執行法73条)の判定を行うことの参考として、一括価格の内訳として算出した価格である。

③　物件1・2の土地価格は物件3の建物のための敷地利用権価格を控除した価格であり、また物件3の価格は当該敷地利用権付建物としての価格である。

第２　評価の条件

①　本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

　したがって求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。

②　評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。

③　現地での物件調査は目視可能な部分に限定され、物件に関する情報提供の内容も民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第３　目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登　記	現　況
1	所在 地番 地目 地積	甲州市塩山上於曽字宮ノ窪 374番1 宅地 233.67㎡	
2	所在 地番 地目 地積	甲州市塩山上於曽字宮ノ窪 378番2 宅地 181.04㎡	
3	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	甲州市塩山上於曽字宮ノ窪374番地1・374番地1先 374番1 居宅 木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 1階　142.56㎡ 2階　63.42㎡ 延床面積　205.98㎡	 1階　142.56㎡ 2階　約40.00㎡ 延床面積　約182.56㎡

第４　目的物件の位置・環境等

１　土地の概況及び利用状況等（物件１，２）

位置・交通	ＪＲ中央本線「塩山」駅西方道路距離約700m	
付近の状況	戸建住宅を中心とする住宅地域	
主な公法上の規制等（道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率	非線引都市計画区域 第１種住居地域 指定 60% 指定 200%
画地条件	物件1・2 地積　：414.71㎡ 間口　：約17.5m 奥行　：約23m 形状　：不整形 地勢　：起伏地 高低差：路面より低い 接面道路との関係：角地	
接面道路の状況	物件1 北約2.3m～3m舗装市道（建築基準法42条2項） 北西約1.1m舗装市道（建築基準法上の道路ではない）	
土地の利用状況等	現況調査報告書記載のとおり	
供給処理施設	上下水道 下水の引込はなされていない。	
特記事項	①本件土地は東側で一級河川塩川に隣接し、一部が河川区域に入っている可能性がある。（境界の確定を要する。） ②隣接地との境界が不明確な部分があるので、境界の確定を要する。 ③敷地内に隣接地の水道管が通っている。	

2　建物の概況及び利用状況（物件３）

建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年　昭和33頃 経過年数　約68年 経済的残存耐用年数　ほぼ満了
仕様	構造　木造 屋根　亜鉛メッキ鋼板葺 外壁　モルタル 内壁　クロスほか 天井　合板ほか 床　畳ほか
床面積（現況）	1階　142.56㎡ 2階　約40㎡ 計　約182.56㎡
現況用途等	居宅
品等	中位
保守管理の状態	著しく劣る
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり
特記事項	

第５　評価額算出の過程

１　基礎となる価格

①　物件１，２（土地）

物件番号	標準画地価格（円／㎡）ア	個別格差 イ	地積（㎡）ウ	建付減価 エ	共有持分割合 オ	市場性修正 カ	建付地価格（円）ア×イ×ウ×エ×オ×カ=キ
1	32,100	0.63	233.67	1.00		0.95	4,490,000
2	32,100	0.63	181.04	1.00		0.95	3,480,000

ア　標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示　甲州-2

公示価格　　時点修正　　標準化補正　地域格差　標準画地価格
32,100円／㎡×99.9／100×　100／100　×100／100≒32,100円／㎡

◇時点修正：年率-0.30％を補正
◇標準化補正：必要なし。
◇地域格差：必要なし。

イ　個別格差：物件1・2 街路条件（幅員、系統・連続△20 ）
画地条件（形状・規模△10 水路が介在△3 道路より低く、かつ起伏を含む△10 ）
格差の相乗積（100%-20%）×（100％-10%）×（100％-3%）×（100%-10%）≒63%

ウ　地積：登記記載の地積。
エ　建付減価：物件1・2 1.00
カ　市場性修正　：物件1・2　一部が河川区域に入っている可能性がある△5

②　物件３（建物）

物件番号	再調達原価（円／㎡）ア	現況延床面積（㎡）イ	共有持分割合 ウ	現価率 エ	市場性修正 オ	建物の価格（円）ア×イ×ウ×エ×オ=カ
3	150,000	182.56		0.01	1.00	270,000

ア　再調達原価　：150,000円/㎡
イ　現況延床面積：182.56㎡
エ　現　価　率：ほぼ満了
オ　市場性修正　：1.00

2　評価額の判定

①　土地利用権等価格

物件番号	建付地価格（円）ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格（円）ア×イ=ウ
1	4,490,000	0.55	法定地上権	2,470,000
2	3,480,000	0.55	法定地上権	1,910,000

②　内訳価格及び一括価格

基礎となる価格に対して、土地利用権価格の控除及び加算をおこない、さらに競売市場性修正をおこなって評価額を次のとおり定した。

物件番号	基礎となる価格（円）（1①キ,1②カ）ア	土地利用権等価格の控除及び加算（円）（2①ウ）イ	市場性修正ウ	競売市場修正エ	占有減価修正オ	その他の控除減価（敷金等）（円）カ	評価額（円）（ア±イ）×ウ×エ×オ−カ
1	4,490,000	−2,470,000	1.00	0.60	1.00	−	1,210,000
2	3,480,000	−1,910,000	1.00	0.60	1.00	−	940,000
3	270,000	+4,380,000	1.00	0.60	1.00	0	2,790,000
一括価格（合計）							4,940,000

ウ　市場性修正　　：必要なし
エ　競売市場修正　　：物件1・2 0.60
オ　占有減価修正：必要なし
カ　その他の控除減価　：必要なし

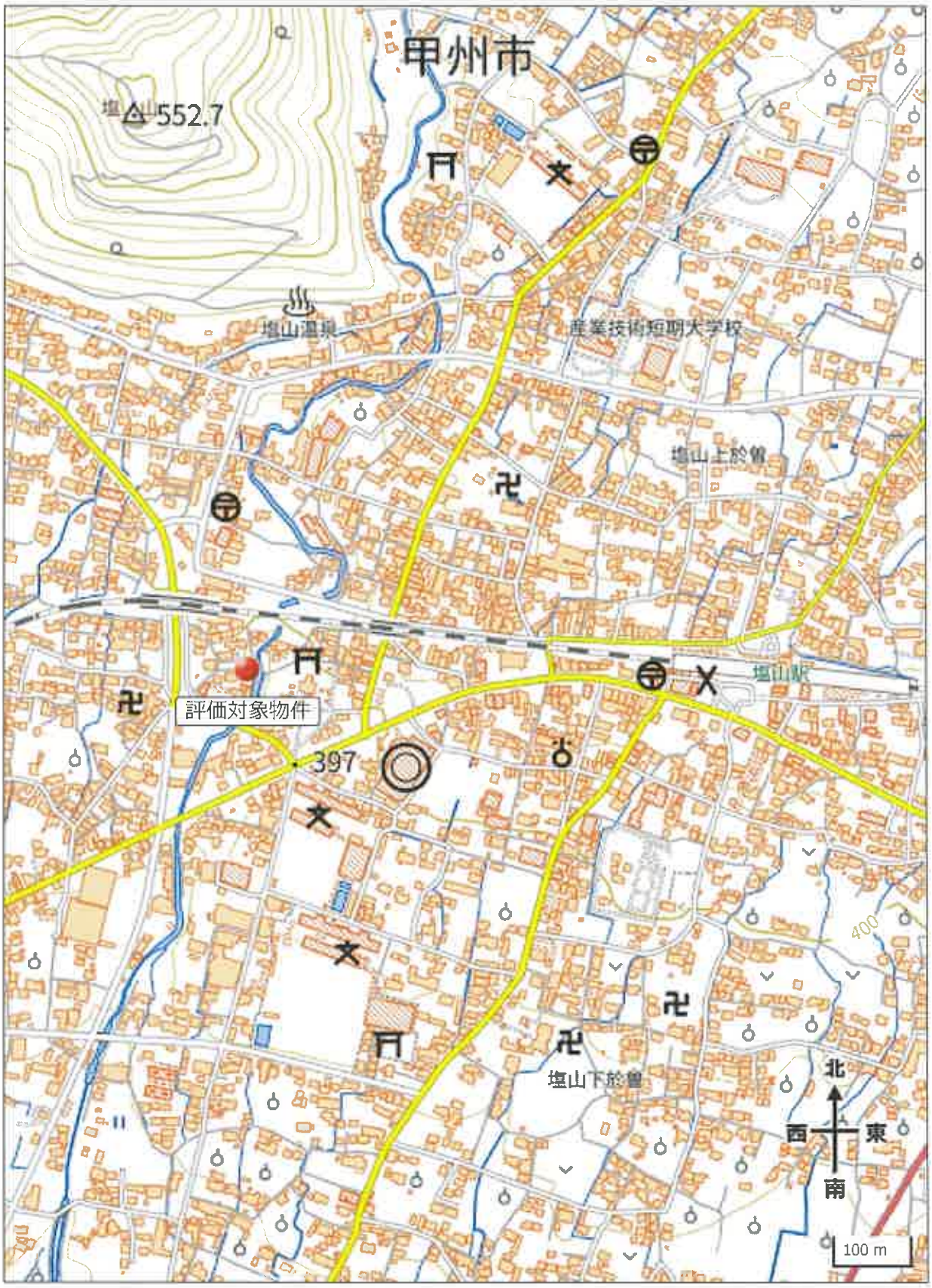
第６　参考価格資料

１　地価公示価格　甲州-2

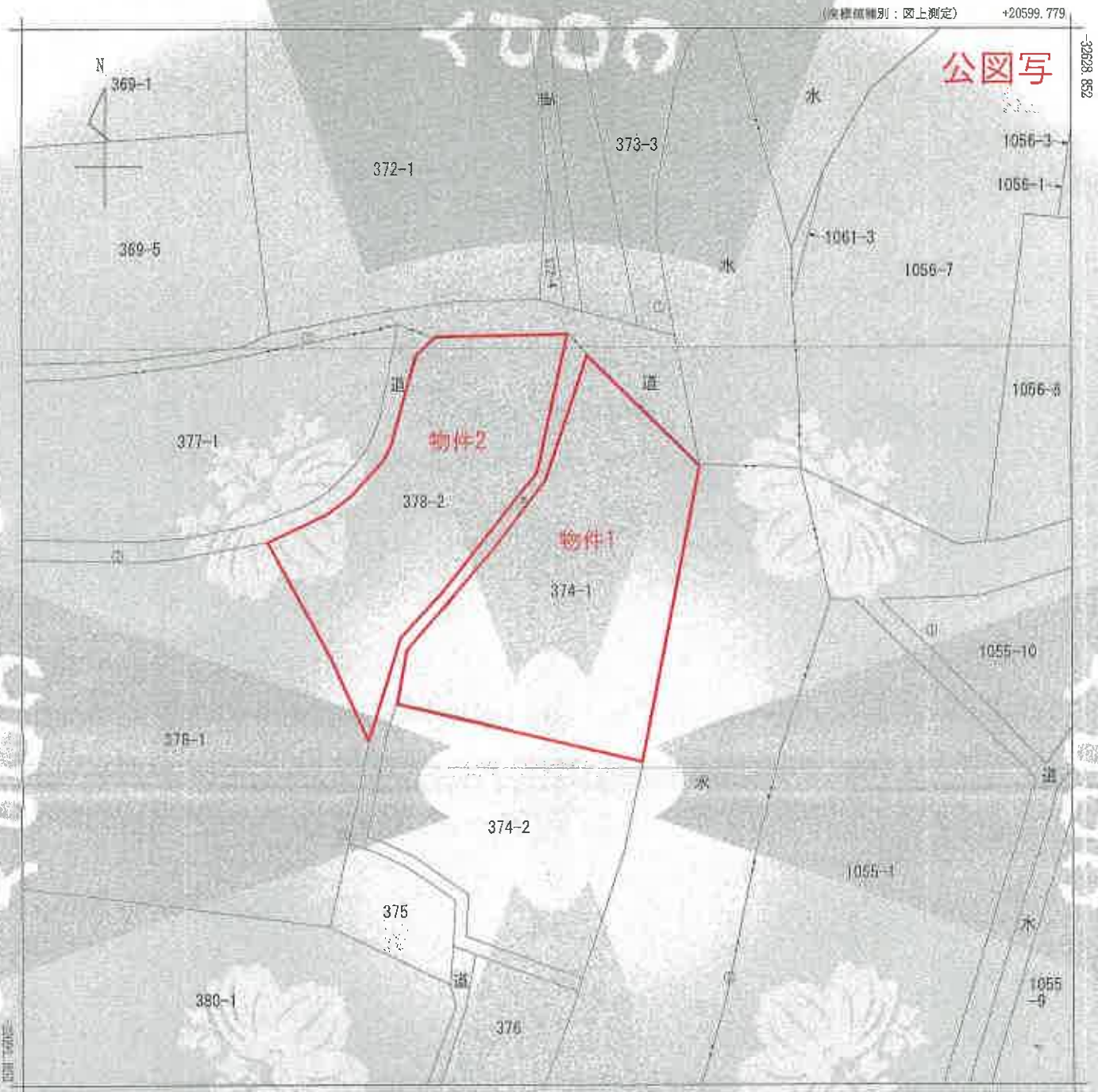
所　　在：甲州市塩山上於曽字堰口1628番1外
地　　目：宅地
価　　格：32,100円／㎡（対前年変動率 -0.30%）
位　　置：ＪＲ中央本線「塩山」駅250m
価格時点：令和 8年 1月 1日
地　　積：158㎡
供給処理施設：水道、下水
接面街路：北東4.7m市道
用途指定等：非線引都市計画区域 第２種中高層住居専用地域
（建ぺい率60%、容積率200%）
地域の概要：中規模一般住宅が多い駅に近い既成住宅地域

以　上

位置図



出典：国土地理院ウェブサイト　標準地図を加工して作成



(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouoki2011.par)による補正がされています。

地番区域見出	塩山上於曽

請求部分	所在	甲州市塩山上於曽字宮ノ前				地番	374番1		
出力縮尺	1/250	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	個	分類	地図(法第14条第1項)	種類	地籍図
作成年月日	昭和62年12月			備付年月日(原図)	平成1年5月1日	補記事項			

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年3月31日
甲府地方法務局
登記官 [redacted]

地図整理番号：M27314
(1/1)

A4に縮小

これは図面に記録されている情報を証明したものである。
令和8年3月31日　甲府地方法務局

登記年月日：平成14年10月25日

各階平面図　0228097

建物図面
各階平面図

家屋番号	374番1
建物の所在	~~[illegible]~~上教来石ノ原374番地1・374番地1先

物件3

平成14年10月25日登記

1階



求積表		
5.460 X	2.140 =	9.874400
7.280 X	1.820 =	13.249600
8.190 X	4.550 =	37.264500
10.920 X	5.460 =	59.623200
11.070 X	0.910 =	10.073700
0.910 X	5.460/2=	2.484300
合	計	142.569700

床面積　142.56㎡

2階



求積表		
3.640 X	10.920 =	39.748800
2.730 X	6.370 =	17.390100
2.275 X	6.370/2=	7.240425
合	計	63.429325

床面積　63.42㎡



作製者

縮尺　1/250

申請人

縮尺　1/250

（日本産業規格A4）

（長辺約）

（山梨県土地家屋調査士会統一用紙）

COPY

地図整理番号：M27316

A４に縮小